

岡山大学国際センター 映画上演会・講演会

「岡山大学発の国際貢献を考える ―揺籃の地 カンボジア―」

内容：『地雷を踏んだらサヨウナラ』上映、五十嵐匠監督講演会・座談会

日時：2008年6月21日（土曜日）13:00～

場所：岡山国際交流センター 2階 国際会議場（奉還町）

共催：(財)岡山県国際交流協会

趣旨：

1979年よりタイ・カンボジア国境にてカンボジア難民救援活動が始まり、日本の国際NGOの先駆者たちも現場へ駆けつけ、さらに1992年からのカンボジア和平において日本は官民あげて平和貢献にも乗り出した。その意味でカンボジアは日本（人）にとり、国際貢献・国際協力を考える際の原点である。

そのカンボジアを舞台にした日本映画である『地雷を踏んだらサヨウナラ』（1999年）は、アンコールワットに魅せられカンボジア内戦を取材中に銃撃され死亡した、伝説の若きフリーカメラマン一之瀬泰造をモチーフにした映画であり、カンボジア内戦の雰囲気をよく伝えており、日本の国際貢献揺籃の地カンボジアを理解するには格好の映画である。

この映画の上映を行い、その後、五十嵐匠監督ご本人の講演会を行う。さらに映画そのものやカンボジアをめぐる、専門家による議論でなく、カンボジア経験のある学生なども含めた普段着の座談会を行う。

本上映会・講演会を通じて、カンボジアの過去や現在、地雷の問題、国連による平和構築を含めた国際貢献の在り方、それへの日本や岡山の関わり、映画の話、ジャーナリスト、とりわけ報道カメラマンという仕事などについて、参加者に伝えることを目的とする。

備考：

- 1 (財)岡山県国際交流協会が共催。
- 2 企画には岡山大学生が参画しており、準備においても協働して行う。
- 3 座談会は、五十嵐監督の他、国際センター小川秀樹、カンボジア経験がある岡山大学生等を予定。
- 4 岡山大学主題科目「国際貢献論」（小川秀樹）の受講生にとっては振替講義にもなり、学生100名、一般100名の200名の参加を予定。

問合せ先：国際センター小川秀樹（251-8516、ogawa-h@cc.okayama-u.ac.jp）